

●施工完了後の確認

1. 施工の再確認

全ての施工完了後、再度接続部の締め付けを確実に行ってください。配管接続部及び水栓からの水漏れがないか再度確認してください。

2. 整流器のゴミづまり除去方法（図6）

- (1) 開閉ハンドルを右に回して止水状態にしてください。
- (2) 整流器のキャップをスパナ等で左に回しゆるめてください。
- (3) 整流網のゴミをとりぞいでください。
※新製品にはシールテープ、グリス等が付着していることがあります。よく水洗いしてください。

3. ストレーナーのゴミづまり除去方法（図7）

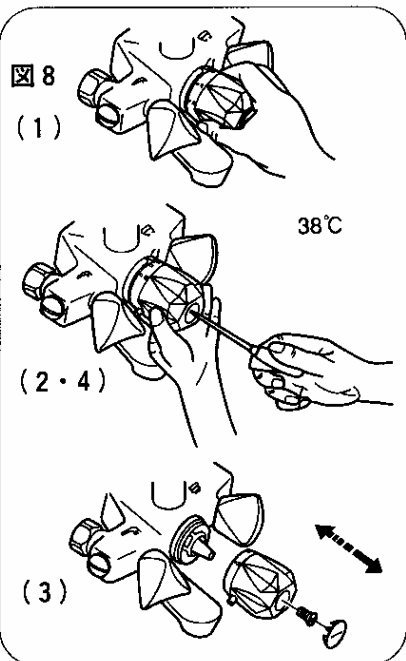
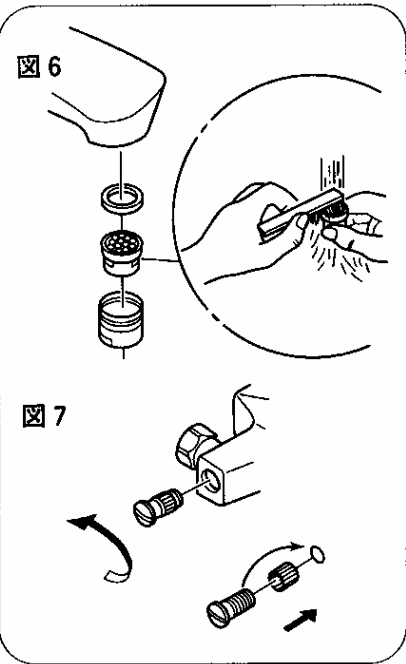
- (1) インレット止水コマを右に回して止水状態にしてください。
- (2) 本体左右の逆止弁付ストレーナーを左に回しゆるめてください。
- (3) オールリングをはずし、ストレーナーを抜き取りゴミをとりぞいでください。

4. 温度設定の調整（図8）

お使いいただく現場で適温が得られるか温度を測定してください。適温が得られない場合は以下の方法で調整してください。

※ストレーナーのごみづまり、止水栓の開栓、高い温度の供給等を確認してください。

- (1) 開閉ハンドルを全開し、温度調整ハンドルを温度目盛に關係なく38℃の温度が得られる位置まで回してください。
※表示38℃以上回す際、温度調整ハンドル下部の赤ボタンを押して回します。
- (2) 温度調整ハンドルが回らないようしっかり握り、温度調整ハンドルのキャップをはずし、止ネジをゆるめはずしてください。
- (3) 温度調整ハンドルを抜きとっては、温度目盛「38」と本体の温度位置マークが合わさるように差し込んでください。
- (4) 温度調整ハンドルが回らないようしっかり握り、止ネジをしめて、温度調整ハンドルのキャップを取り付けてください。



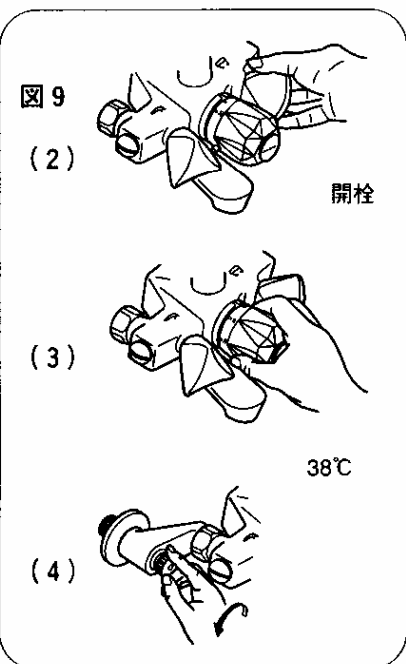
●寒冷地にて使用する場合

1. 設置条件

不凍結栓等を設置した寒冷地使用配管設備でないと使用できません。

2. 水抜き方法（図9）

- (1) 屋外の給水栓を閉じ、不凍結栓を開放してください。
- (2) 水栓の左右の開閉ハンドルを、左に回して開栓状態としてください。
- (3) 温調ハンドルを38℃位置にしてください。
- (4) 寒冷地インレットの水抜き栓を手で回して開栓としてください。
- (5) シャワーヘッドを振って水をよく切った上、静かに床に置いてください。
※際通水前に水抜き栓を閉め、開閉ハンドルを閉めてください。シャワーヘッドは元の位置にもどしてください。





WATER TECHNOLOGY

サーモスタット バス シャワー 混合水栓

機種名	一般地用	寒冷地用
グローミックス	34404	34404 K
	34410	34410 K
	34420	34420 K

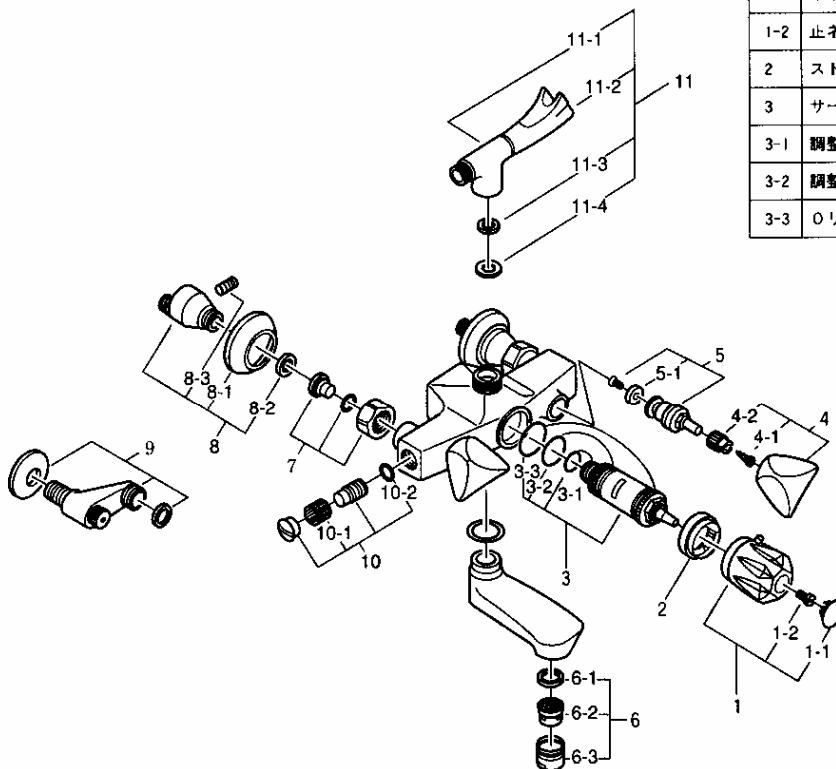
施工説明書

施工業者用

- 施工の前に、この「施工説明書」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 施工完了後、試験運転を行い異常がないことを確認すると共に、「取扱説明書」にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方等をご説明ください。
- 「施工説明書」と「取扱説明書」は、お客さまが保管頂くようにご依頼をお願いします。

● 外観図と付属品

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。




1	温度ダイヤル	4	開閉ハンドル
1-1	キャップ	4-1	スクリュー
1-2	止ネジ	4-2	インサート
2	ストップリング	5	ヘッドパーツ
3	サーモスタット	5-1	コマパッキン
3-1	調整Oリング	6	口金(エアレーター)
3-2	調整Oリング	6-1	パッキン
3-3	Oリング	6-2	整流網
		6-3	キャップ
		7	袋ナットセット
		8	インレット
		8-1	フランジ
		8-2	取付パッキン
		8-3	止水コマ
		9	寒冷地用インレット
		10	逆止弁付ストレーナー
		10-1	ストレーナー
		10-2	Oリング
		11	クレイドル
		11-1	ホース接続部
		11-2	シャワーフック
		11-3	ゴムパッキン
		11-4	調整パッキン


●安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した△注意は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

△注意…… 「この指示を無視して誤った取扱いをすると、傷害または、物的損害が発生する可能性があることを示しています。」

■記号の説明

 ……「してはいけません！」（一般的な禁止記号です。）

 ……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

△注意



湯水を逆配管しない



湯水を逆に配管しないでください。
※サーモスタットの温度調整が出来ません。

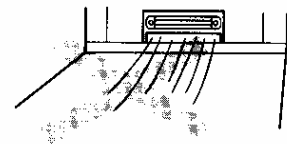


給湯に蒸気を使わない

給湯に蒸気を使用しないでください。
※温水での使用水栓ですので、器具破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



スチームルームでは使用しない



スチームルームでは使用しないでください。
※器具破損で漏水し、家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



純正部品以外使用禁止

GROHE

純正部品以外は使用しないでください。
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



施工完了後の確認



施工完了後は、配管接続部分及び水栓から、水漏れのないこと、バルブが閉じていることを確認してください。
※漏水で家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。



寒冷地の水抜き(寒冷地で使用の場合)



お客さまに引き渡す迄は必ず元栓を閉じて、内部の水を抜いておいてください。
※特に冬季は凍結破損で漏水し家財等を濡らす財産損害発生のおそれがあります。

●施工

1. 施工の前に

工事の時は、配管内にゴミや鉄クズ等がたまっていますので、取り付け前に配管のみで水を流すか或は他の場所で水を流すか等のことを行い、十分にゴミをとり除いてください。

2. インレットの取り付け

一般地用の場合 (図1)

- ① インレット配管ネジ部にシール剤 (シールテープ) 等を使用し湯水共配管に右回しにネジ込みます。同時に湯側と水側のインレット本体取付ネジ部の間隔を中心間の距離で150ミリになるよう調整しながらネジ込んで固定してください。

★ご注意：専用工具 (14ミリ六角棒) をご使用ください。

- ② インレットにフランジを壁面にあたるまでセットしてください。

寒冷地用 (湯水共配管の間隔が90~210ミリ) の場合 (図2)

- ① インレット配管ネジ部にフランジを右回しにいっぱいまでネジ込んでセットしてください。
- ② インレット配管ネジ部にシール剤 (シールテープ) 等を使用し湯水共配管に右回しにネジ込みます。同時に湯側と水側のインレット本体取付ネジ部の間隔を中心間の距離で150ミリになるよう調整しながらネジ込んで固定してください。
- ③ フランジを壁面にあたるまで右回しにいっぱいまでネジ込んでセットしなおしてください。

3. 本体の取り付け 一般地用・寒冷地用 (図3)

- ① 本体湯水の袋ナットに付属品のファイバーパッキンをはめ込んでください。
- ② インレット本体取付ネジ部に本体湯水の袋ナットを交互に少しづつ右回しにいっぱいまでネジ込み、工具 (30ミリスパナ) 等で完全に締め付けてください。

4. クレイドルの取り付け (図4)

- ① クレイドルシャワーフック部を左に回し取り外します。
- ② クレイドルを本体クレイドル接続部に右回しにいっぱいまでネジ込んで、クレイドルホース接続部が横面にくるようゴムパッキン、ファイバーパッキンで調整し、完全に締め付けてください。
- ③ シャワーフック部をクレイドルに右回しにいっぱいまでネジ込んで、シャワーフック化粧部が上向きになるよう一度引き抜いてセットしなおしてください。

5. シャワーヘッド・ホースの取り付け (図5)

- ① ホース袋ナットをクレイドルホース接続部に右回しにいっぱいまでネジ込んで締め付けてください。
- ② ホーステーパ (フック取付用) 袋ナットをシャワーヘッド接続部に右回しにいっぱいまでネジ込んで締め付けてください。

★シャワーヘッドの種類により接続方法が違ってまいりますので別紙ヘッド説明書をご参照下さい。

★ご注意：取付後ホースにねじれがないことを確認してください。

